

主題：イエスにあるあの実際にしたがってキリストを学ぶことによって、  
キリストのからだの実際の中で生きる

メッセージ 9

愛としての神の命を生きることによって、  
キリストのからだの実際の中で生きる

聖書：Ⅰコリント 8:1 後半、12:31 後半、13:1, 4-8, 13,  
14:1, 3, 4 後半、ヨハネ 21:15-17、啓 3:7-22。

I. わたしたちのクリスチャン生活と召会生活において、愛はまさらなければなりません——

Ⅰコリント12:31後半、13:4-8, 13:

- A. わたしたちは、キリストの愛によって押し流され運び去られている人にならなければなりません。神聖な愛は、大水のようにわたしたちに押し寄せ、わたしたちを駆り立てて、彼に生き、彼を極みまで愛さざるを得ないようにさせるはずです——Ⅱコリント 5:14。
  - B. わたしたちは自分自身を神の愛の中に保ち、キリストの愛によって押し迫られて、兄弟たちのために自分の命を捨てなければなりません——ユダ 19-21 節、Ⅱコリント 5:14、Ⅰペテロ 1:22、Ⅰヨハネ 3:14-16、4:7-21。
  - C. わたしたちは極みまで主を愛するために、わたしたちの命の日の限り、神の家に住んで彼の麗しさ（愛すべきこと、楽しさ、喜ばしさ）を見つめ、神の宮で神を尋ね求めることを願い、求める者たちとなる必要があります。神を尋ね求めることは、わたしたちの日常生活のあらゆる事について神に尋ねることです——詩 27:4。
  - D. キリストの有機的なからだとしての召会の建造のために、わたしたちが何であつても、何を行なつても、愛が最も卓越した道です——Ⅰコリント 12:31 後半、13:1, 4-8, 13:
- 1. Ⅰコリント第 13 章においてパウロによって描写された愛は、神聖な命の表現です（4-8 節前半）。さらに、愛がその霊の実であるという事実は、愛の実質がその霊であるに違いないということを示しています（ガラテヤ 5:22）。もしわたしたちが愛を持っていないなら、わたしたちの語りかけは、命のない音を出す、鳴り響く鐘や騒がしいシンバルのようです（Ⅰコリント 13:1、14:1, 3, 4 後半、12, 31、Ⅱコリント 3:6）。
  - 2. わたしたちは、他の人たちに対する愛において神のようであるべきであつて、何の差別もなく人々を愛するべきです（マタイ 5:43-48）。キリストによって彼の十字架を通して最初に救われた者は、紳士ではなく、死を宣告された犯罪者、強盗でした。この事は、とても意義深いのです（27:38、ルカ 23:42-43）。
  - 3. 愛の法則としての命の霊の法則がわたしたちの内側で活動するとき、わたしたちは自動的にまた自然に牧者となつて、わたしたちの父なる神の愛し赦す心と、わたしたちの救い主キリストの牧養し捜し求める霊を持つようになります——ローマ 8:2、ガラテヤ 6:2-3、ヨハネ 21:15-17、ルカ 15:3-7。
  - 4. 主にあるわたしたちの労苦は愛の労苦です（Ⅰコリント 15:58、Ⅰテサロニケ 1:3）。

わたしたちはその中で「弱い人たちを支え」（使徒 20:35）、「弱い者を支え」ます（Ⅰテサロニケ 5:14）。「弱い人たち」は、彼らの霊、魂、体において弱い人たち、あるいは信仰の弱い人たちを指しています（ローマ 14:1, 15:1）。

E. 「知識は人を思い上がらせますが、愛は人を建造します」。わたしたちは務めのメッセージを聞いていても、単なる知識をもって思い上がっているかもしれません——Ⅰコリント 8:1 後半、参照、Ⅱコリント 3:6。

**Ⅱ. 主の最新で究極の回復の現にある真理は、わたしたちがヒラデルヒヤの道を取ることを選ぶことによって、わたしたちを新しい復興の中へともたらし時代を転換することです。ヒラデルヒヤに在る召会によって表徴されている回復された召会、兄弟愛の召会だけが神の永遠の定められた御旨を成就し、神の心の願いを満たすことができます——啓1:1-3, 3:7-13, 詩歌640番：**

A. ヒラデルヒヤの勝利者の特徴は（7-13 節）、彼らが神のエコノミーの神聖な啓示の最高峰に到達することを渴望しているということです。この最高峰は、神が人と成ったのは、人が神格においてではなく命と性質において神となって、キリストのからだが生み出されることができ、花嫁の用意が整えられることができ、新エルサレムが究極的に完成されることができるためであるということです：

1. アジアの諸召会の大部分は、一般的な意義において、使徒パウロの務めから離れ去ってしまいましたが（Ⅱテモテ 1:15）、一つの召会は独特であり、主によって高く称賛されました。それはヒラデルヒヤに在る召会です。主は彼らを高く称賛し、さらには彼らを評価しました。なぜなら、彼らは彼の言を守ったからです。それが意味するのは、彼らが使徒パウロの神のエコノミーの健康な教えの言葉、すなわち神聖な啓示の最高峰から離れ去らなかったということです（啓 3:8, Ⅰテモテ 1:3-4, 6:3）。

2. ヒラデルヒヤの者たちが「神に対して富んで」（ルカ 12:21）いるのは、彼の言葉を祈り読みし、口ずさんで、彼らの心の中に彼の言葉を蓄えることによってです（エペソ 6:17-18, 詩 119:11, 15）。彼らが神の言葉に手を挙げるものが示しているのは、彼らが温かく、喜んでそれを受け入れ、それにアーメンと言うことです（48 節、ネヘミヤ 8:5-6）。

3. 勝利者が宮の柱となるとは、彼らが三一の神の中で柱となることを意味します。なぜなら、宮は、「主なる神、全能者と小羊」であるからです。神は彼らの中へと建造されて、彼らを生ける尊い石とします。そして彼らは神の中へと建造されて、神の中の石の柱となり、神と合併されて、神と人の相互の住まいとなります——啓 3:12 前半, 21:22, 3, 詩 90:1, ヨハネ 14:23, 参照、列王上 7:17。

4. 神の御名、新エルサレムの名、主の新しい御名が勝利者の上に書き記されていることが示しているのは、神であるもの、新エルサレムの性質、主のパーソンがすべて彼らの中へと造り込まれ、彼らを三一の神で標示し（彼らの「名札」のように）、神格においてではなく命と性質において神とするということです——啓 3:12 後半, 22:4 後半。

B. ヒラデルヒヤの勝利者の特徴は、彼らが内住の宝としてのキリストの豊富を享受することによって、力を尽くして神・人の生活の中へと入ることです——エペソ 3:8。

## Ⅱ コリント 4:7 :

1. イザヤ書第 22 章で、神は王の家の執事であるセブナを解雇し (15-19 節)、彼をエリアキムに置き換えました。エリアキムが予表するのは、神の家の執事としてのすべてを含むキリストであり、その肩に神の家のかぎが置かれている方です (20-25 節、啓 3:7-8)。キリストは神の宝物倉の戸を管理するかぎを持っており、その宝物倉の中にはわたしたちの享受のための、キリストの中にある神の豊富があります (Ⅰ テサロニケ 5:16-19、参照、エゼキエル 1:22, 26) :
  - a. 真の召会生活は、すべての聖徒が解雇され、キリストに置き換えられて、キリストを召会の中のあらゆるものとする生活です。わたしたちはみな「セブナ」であり、真のエリアキムとしてのキリストによって取り除かれ、置き換えられて、彼の複製となり、神の奥義の執事また神のさまざまな恵みの家令となります——コロサイ 3:10-11、Ⅰ コリント 4:1、Ⅰ ペテロ 4:10。
  - b. わたしたちはキリストに結合され、キリストは彼ご自身をわたしたちに結合し、彼ご自身をわたしたちに結び付けたので、彼が十字架上で死なれた時、わたしたちは彼と共に死に、終結させられました。今やわたしたちとキリストとの有機的な結合の中で、彼はわたしたちの中で生き、わたしたちと共に生き、わたしたちによって生き、わたしたちを通して生きることによって、わたしたちを置き換えます——ローマ 6:6、ガラテヤ 2:20、ローマ 8:16、Ⅰ コリント 6:17。
2. 主がご自身の回復を拡大するためにダビデのかぎを用いて戸を開くことは、わたしたちにとって客観的ですが、キリストはまたダビデのかぎを用いて、主観的にわたしたちの内なる存在の中の戸を開き、わたしたちを造り変え、神の家の中の柱へと建造します。その柱の上には神の御名、新エルサレムの名、主の新しい御名があります——啓 2:17、3:12、参照、21:22 :
  - a. 「わたしの神の御名」は、柱が神であることを示します。「わたしの神の都の名」は、柱が新エルサレムであることを示します。「わたしの新しい名」は、柱が新しい意義においてキリストであることを示します。柱としての勝利者は、神格においてではなく命と性質において神となり、新エルサレムの構成要素となり、新しい経験的な意義においてキリストとなります——啓 3:12。
  - b. 新エルサレムは新しいキリストです。わたしたちは神の拡大また拡張として、新しい意味においてキリストであり、新エルサレムです。新しいキリストは、四福音書の中のキリストと同じではありません。花婿の増し加わりである花嫁は、新エルサレムであり、神の再生された者たちすべてを含んでいます——ヨハネ 3:29-30、啓 21:9-10。
  - c. わたしたちが神の中へと建造され、新エルサレムの構成要素となり、新しいキリストの一部分となることは、人には不可能ですが、わたしたちの内側の命の霊の法則は、不可能を対処する一つの要素を含んでいます——ローマ 8:2、ルカ 18:27、参照、創 28:12-19、ヨハネ 1:51。
- C. ヒラデルヒヤの勝利者の特徴は、彼らの兄弟愛です。彼らの間で愛はまさっているので、彼らは神の元気づける臨在をもって人々をはぐくみ、神のエコノミーの健康な教えをもって人々を養うことによって (エペソ 4:11、5:29、使徒 20:28)、神にし

たがって人々を牧養します（Ⅰペテロ 5:2）：

1. 召会生活は兄弟愛の生活です（Ⅰヨハネ 4:7-8. Ⅱヨハネ 5-6 節. ヨハネ 15:12, 17. 啓 3:7. エペソ 5:2. 参照、ユダ 12 節前半）。からだは愛の中でそれ自身を建て上げます（エペソ 4:16）。
  2. 主の回復は、主イエスを愛することの回復です。ヒラデルヒヤの勝利者は一の真の立場に立ち、自分自身を神の愛の中に保ち、主を愛し、すべての兄弟を愛します——啓 3:7 前半. 参照、2:4, 7. ユダ 19-21 節. Ⅱコリント 5:14. ヨハネ 12:3. ルカ 7:47. Ⅰヨハネ 3:14-16. 詩第 133 篇。
  3. ヒラデルヒヤの勝利者は、主の唯一の新約の務めの中で彼の言を守ります（啓 3:8）。その言は、彼らの命またすべてである主イエス・キリストの尊いパーソンに対する真の評価、愛、享受の中へと彼らをもたらします（Ⅱコリント 11:2-3）。
  4. わたしたちは命を他の人たちに供給し、わたしたちの勝利を維持して召会を建造するために、復興された生活をし、主に対するまた兄弟たちに対するわたしたちの愛から流れ出る牧養の中で労苦しなければなりません——箴 4:18. ヨハネ 21:15-17。
- D. ヒラデルヒヤの道を継続するためには、ラオデキヤの道から救われなければなりません。ラオデキヤは墮落しゆがんだヒラデルヒヤです——啓 3:14-22：
1. ラオデキヤはまだ自分の歴史を覚えていますが、自分の以前の命を失ってしまいました。わたしたちは、重要なのはただ神の現在の臨在であるということを永遠に覚えていなければなりません——出 33:14. Ⅱコリント 2:10。
  2. ラオデキヤが意味するのは、すべてのことを知っていても、実際において何に対しても熱くないことです。ラオデキヤは名においてはすべてを持っていますが、何に対しても自分の命を犠牲にすることはできません。ラオデキヤは以前の栄光を覚えていますが、神の御前での現在の状態を忘れています。以前はヒラデルヒヤでしたが、今日はラオデキヤであり、なまぬるさと霊的な高ぶりで満たされています——啓 3:15-17。
  3. わたしたちはヒラデルヒヤの道を継続したいなら、神の御前にへりくだり、代価を払って金、白い衣、目薬としての三一の神をさらに多く獲得する必要があります。そうすれば、わたしたちは、わたしたちの内側の導く勝利者としての主となり、千年王国において、彼と共に彼の御座に座ることができます——18, 21 節。